

サッカー部の生徒の運動量に脱帽！

先週の14日(火)に、ACL(赤中チャレンジリーグ)を行いました。これは、赤塚中の職員が各運動部を回って生徒と試合を行うリーグのことです。先週は、サッカー部との試合が生まれ、上中妻サッカー少年団のコーチ2名のお力を借りて試合を行いました。若い先生方は生徒と互角に渡り合う場面も見られましたが、熟年層の先生方はスピード、技術ともに生徒の力量には及ばず、苦しい思いをしました。



結果は、3-2でサッカー部の勝ちでした。これから、春の季節を迎え、6月には総体になります。さらに地力をつけて大会に臨めるよう、己を信じ、チームを信じて頑張ってもらいたいと思います。



「ギュッと！ おにぎりの日」では、お世話様になりました。

2/14(火)は、「水戸市いっせい防災訓練」で、11:05の地震発生を想定して、自分の身を自分で守る(机の下に潜るなど)訓練を行いました。



また、昼食時には、持参したおにぎりを食べ、東日本大震災のことを忘れず、日々の防災意識につばげることができました。全員が忘れずに食事ができました。有難うございました。



小中一貫の取組の柱である「児童会・生徒会リーダー会議」がまとめと引継ぎの時期になりました。

今年度で2年目となる「児童会・生徒会リーダー会議」も2/8(水)に年度最後の協議を行いました。

今回の会議には、5年生の児童も参加し、6年生と中学生の協議に参加しました。いよいよ4月からは、現在の6年生は中学1年生となり、5年生は小学校の最高学年として活躍することになります。



グループに分かれての協議



今年度の取組のまとめの様子

この取組によって「自分たちの学校を自分たちの手でよくしていこう」とする気運が高まっています。学校の主役である児童生徒の皆さんのエネルギーは大きく、具体的な取組を通して仲間意識や課題を見つける目が育っていると感じています。将来、自分たちの地域に目を向け、自分たちで改善していこうとする意欲や実践力につながるものと考えています。



ビデオに見入る後輩たち

この日は、現在の赤塚中学校の3年生の生徒会本部役員からメッセージビデオが映されました。後輩である赤中生や小学生に自分たちの想いを伝えることができました。自分が卒業した小・中学校はいつまでも「母校」になります。母校の活躍を耳にすると、懐かしくそして嬉しくなります。

今年度は、昨年の11/30(水)に市内外の先生方をお招きして、取組内容や成果・課題についての発表会を開催し、赤塚中学校区の取組をアピールすることができるなど素晴らしい取組となりました。